

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和1年12月5日(2019.12.5)

【公表番号】特表2019-505485(P2019-505485A)

【公表日】平成31年2月28日(2019.2.28)

【年通号数】公開・登録公報2019-008

【出願番号】特願2018-530075(P2018-530075)

【国際特許分類】

A 6 1 K	39/395	(2006.01)
C 1 2 Q	1/02	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/39	(2006.01)
C 0 7 K	16/30	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	39/395	D
C 1 2 Q	1/02	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	39/39	
C 0 7 K	16/30	

【手続補正書】

【提出日】令和1年10月25日(2019.10.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

E G F R を発現する癌細胞を標的化する免疫枯渇用の薬学的組成物であつて、
(i) C D 4 7 の活性を遮断する薬剤、及び (ii) 標的細胞の枯渇を増大させるため
の有効量にて上皮成長因子受容体に対し特異的に結合する抗体を含み、
前記薬剤及び前記抗体は前記標的細胞を含む細胞の母集団に接触するように使用される
薬学的組成物。

【請求項2】

E G F R に対し特異的に結合する前記抗体は E G F R シグナル伝達経路のアンタゴニストである、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項3】

E G F R に対し特異的に結合する前記抗体は E G F R シグナル伝達経路の非アンタゴニストである、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項4】

C D 4 7 の活性を遮断する前記薬剤は、抗 C D 4 7 抗体である、請求項1～3のいずれか一項に記載の薬学的組成物。

【請求項5】

前記抗 C D 4 7 抗体は I g G 4 F c 領域を含む、請求項 4 に記載の薬学的組成物。

【請求項 6】

前記抗 C D 4 7 抗体は 5 F 9 - G 4 である、請求項 5 に記載の薬学的組成物。

【請求項 7】

前記抗体はマウスの抗体である、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の薬学的組成物。

【請求項 8】

前記抗体はヒトの抗体である、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の薬学的組成物。

【請求項 9】

初回抗原刺激量の C D 4 7 の活性を遮断する前記薬剤を更に含む、請求項 8 に記載の薬学的組成物。

【請求項 10】

初回抗原刺激量のエリスロポエチン刺激剤を更に含む、請求項 8 に記載の薬学的組成物。

【請求項 11】

前記標的細胞は、K R A S、N R A S 及びB R A F のうちの 1 つ以上に活性化突然変異を有する請求項 1 に記載の薬学的組成物。